

令和7年度第6回 かつらぎ町地域公共交通活性化協議会

会 議 録

日時:令和8年2月26日(木)13:00~14:30

場所:大谷公民館2階大ホール

出席者:出席 18 名(うち2名は会長委任)

- 会議次第: 1. 開会
2. あいさつ
3. 議事
4. 閉会

議事について:

承認

議題1 : 自家用有償旅客運送「ふれあいサービス」の更新登録の申請について
現在、花園区域において運行している、自家用有償旅客運送「ふれあいサービス」が登録有効期間の令和8年2月28日以降も運行することについて承認を求める。

承認

議題2 : デマンド乗合交通「かつらいど」実証結果、本格運行、現行デマンド乗合タクシーの廃止について

令和8年4月からのデマンド乗合交通「かつらいど」の本格運行(4条運行)、令和7年10月~令和8年3月の間運休しているデマンド乗合タクシーの廃止について承認を求める。

【質問事項】

○議題2の資料①裏面、変更点②~④の変更理由は何かあるか。

→答:変更点②については、現在運休しているデマンド型乗合タクシーにおいて見好・三谷エリアで8時台の運行があった。今回の実証実験にあたり、車の台数の都合等もあり、8時台に運

行ができなかった。しかし実績報告にもあったように 9 時予約で通院したいという要望が多かったので、朝の 1 便目を減らして、この部分を補完したいという考え。

変更点③については、実証実験では 16 時までオンデマンド運行であったが、夕方に通院したいという要望があった。運行事業者である有交紀北様と協議した結果、17 時 30 分まで対応可能とのことで、オンデマンド運行時間を拡充。

変更点④についても、国道 24 号線沿い以外にも病院等の施設があるので、利用者の利便性拡充のため、有交紀北様と協議した結果、まちなかポイントの範囲を広げた。

○議題2の資料①裏面、変更点①は利用者が少ないため廃止はいたしかたないと思う。

一方で、7 時 15 分発という設定が問題なのか、需要がない時間帯なのかなど、利用がない背景はどういったもの聞きたい。

→答：通勤・通学者をターゲットに想定していたので、電車の時刻に合わせた。推測にはなるが、朝は家の人を送迎できるが、仕事等の関係で夕方は送迎ができないのではないか。そのため夕方に需要があると考え。

○議題2の資料②P8について、継続して利用が増えていることは素晴らしいことだと思う。

しかし、利用者の中身については注意が必要。固定の利用者が多く使うことはいいことだが、裾野を広げるとするのが大事。低頻度利用の方が利用をやめてしまっているのであれば考慮が必要。

定額運賃利用が半数、個人別利用回数 20 回以上の方が 3 割弱くらいになっている。そこにギャップがあるので、低頻度利用の方にもっと使ってもらえるような環境作りが大事。ただ利用者アンケートに外出頻度が増えたという結果をみると、良い効果がでていいる。こういった効果をより多く実感してもらいたい。

議題2の資料②P10、かつらいど実績報告内の「参考資料「かつらいど」利用登録者アンケート調査結果」の「外出が増えた回数」の n=98 の数値は正しいか。

→答：n=98→n=22に訂正。

○実証運行では 5 エリアごとに対応する 5 パターンのチラシがあったが、今回運行内容が統一されたことにより、PR が非常にしやすくなったと感じた。

→答：社協の方には PR に関してすごくお世話になっており、そういった意見は嬉しい。

○議題2の資料②P7について、予約方法で電話予約が圧倒的に多い。高齢者の利用が多いことが理由と考えるが、全国の事例をみると電話予約以外の予約方法に付加価値をつけることで利用促進をしている事例もあるので是非取り組んでいただければと思う。

→答：良い事例があれば教えていただきたい。様々な団体を訪問し、直接スマホでの操作方法を伝えている。今後も引き続き行っていく。

○議題2の資料②P1の、エリア別登録者数の「花園」「住所なし・県外」は実際の住所が違うということか。

→答:スマホ登録の制御ができないため県外の登録が入ってしまうが、実際の利用はない。

花園の方は、花園エリア内は運行していないが、コミバスを乗り継いで利用することが可能なため、利用実績がある。

○議題2の資料②P9コミュニティバス乗車実績をみると、デマンド乗合交通「かつらいど」とコミュニティバスが役割を補完し、共存できているのは素晴らしいこと。有交紀北様の中で、一般タクシー利用とデマンド乗合交通の利用の推移はどうか。

→答:数字は今すぐ出せないが、感覚的にはこれからタクシーの需要が増えると考えます。

デマンド乗合交通が始まった当初は、タクシーの売り上げが減ったが、徐々にタクシーの売り上げが増えてきており、今後はデマンド乗合交通でタクシーを使うことに抵抗がなくなった利用者による新たなタクシー需要も見込める。

○鉄道では、ネット予約と窓口購入で価格差をつけて付加価値をつけている。法律上可能なのかは分からないが、そういったこともできるのではないかと考える。また、駅等で二次交通に関する宣伝物の案内ができるので、可能な範囲で告知に協力していきたい。

→答:告知にご協力して頂けることに感謝します。

付加価値をつけることについて、現状、料金支払いは直接ドライバーに支払う形になっているので、いいアイデアを模索しながら検討したい。

○議題2の資料②P5デマンド乗合交通で公民館やかつらぎ公園利用が多いが、何か集まりやイベントを目的に利用しているのであれば、集まりごとの周知も大事。乗合につながる。

→答:把握している範囲で回答すると、公園にはグランドゴルフを目的として利用している、また公民館はサークルや教室を目的に利用している。

口コミの影響も大きいと感じているので、集まりごとに出向き周知活動を行っていきたい。

承認

議題 3 : かつらぎ町地域公共交通計画案について
 かつらぎ町地域公共交通計画案について、承認を求める。

【質問事項・意見】

| 該当ページ | 質問事項・意見 | 回答 |
|----------|---|---|
| | パブリックコメントは終わっているか。 | パブリックコメントは3週間ほど行い、意見0件で終了している。 |
| 25 | 施策2事業2の関連事業(再掲):事業1-4とあるが、事業1-6ではないか。 | 誤字等改めて確認し、事務局で修正する。 |
| 36 | 評価指標③について、計画最終年度のアンケートの取り方に工夫が必要。 今回は以前の状態と比較しやすいため、数字に反映されたが、最終年度は同じ質問であれば、達成が難しいのではないか。 | 今後5年間で様々なご意見を聞きながら、進めていきたいと考えている。 |
| 14 | 問題点④免許返納を考えはじめるのは運転不安世代になるのではないか。 「普段車を使っている人～」にプレシニア～アクティブシニアが当てはまるのではないか。 | より分かりやすいように、修正する。 |
| 39 40 | 「かつらぎ町地域公共交通活性化協議会事業者部会」と「かつらぎ町地域公共交通活性化協議会」の構成員が同じではないか。役割がわかりづらい。 加えて、年間スケジュールとの兼ね合いも教えてほしい。 | 現在、かつらぎ町地域公共交通活性化協議会とコミュニティバス運営会の2つ存在している。令和8年4月以降で体制を見直していきたいと考えている。 |

議題 4 : その他

国のフィーダー補助を利用するにあたり、国から交通計画の認定を受ける必要がある。
また、6月中に協議会を開催し、承認していただく必要もある。

以上、令和7年度第6回かつらぎ町地域公共交通活性化協議会の内容を記載し、その内容に相違ないことを証するためここに署名する。

令和8年 月 日

議事録署名委員

議事録署名委員